

東日本大震災 関連情報（第 17 報）

平成 23 年 7 月 4 日
全国老人クラブ連合会

●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

1. 被災地の高齢者と交流〔岩手県奥州市 水沢南地区老連〕

6 月 21 日、水沢南地区老連をはじめ水沢南公民館の利用団体関係者 22 名が、大船渡市三陸町を訪れ、避難所や仮設住宅で暮らす高齢者ら約 50 人と交流しました。童謡など 6 曲を歌ったほか、向かい合って手をたたき遊び歌などで親交を深め、カレンダーや生活用品を贈りました。

●支援活動

○ 元気袋情報

- 1 静岡県老連から、裾野市老連が手作りの元気袋 541 個を作成したという 6 月 1 日に日刊静岡に掲載された記事が提供されましたので、添付いたします。

作成はほぼ 1 か月にわたり、最後に物資も含めて箱詰め作業をしました。会場となった福祉保健会館では、お風呂に入りきた高齢者も作業に協力されたそうです。

- 2 岡山県老連からも元気袋作成の記事が届きましたので添付します。6 月 8 日に山陽新聞に掲載されたもので、1000 袋の準備を進めているそうです。

○ 地元で開催された、被災者のつどいに参加・協力〔京都府老人クラブ連合会〕

京都府老連では、京都災害ボランティアセンター主催「県人のつどい in Kyoto」に参加しました。つどいは、京都に避難してきている方たちを対象に開かれたもので、地元県人会や企業の協力・協賛に京都府老連も名前を並べ、当日は平野女性委員長と事務局 2 名が参加して、元気袋を直接手渡しました。感謝の言葉やお礼の手紙に感激しています。今後は市町村単位で同様の催しが開催されるようなので、市町村老連において対応していきたいといえます（資料添付）。

●「阪神・淡路大震災—老人クラブの活動記録集」から

「被災地と交流する友愛活動」について、続きの 2 頁を紹介します。